

# まちづくりと連携した持続可能な交通サービスについての実証実験

八代市地域公共交通会議

## 事業の基礎情報

実施主体	八代市（八代市地域公共交通会議）
事業実施地域	八代市鏡町
共創の類型	官民共創 他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ 商業・農業
共創パートナー	（株）八代タクシー、(有)千丁タクシー、八代市社会福祉協議会、鏡まちづくり協議会、システム事業者、町内の病院・店舗等
運行形態	①乗合タクシー・AIデマンド交通 ②4条乗合
運行主体	（株）八代タクシー、(有)千丁タクシー

## 現状・課題

### （地域交通の現状・課題に関する分析）

- 事業実施地域では、地域内のタクシー事業者の撤退等により交通空白地が生じたことから、令和2年10月から予約制乗合タクシーの運行を開始した。高齢者を中心に買い物や通院といった日常生活の移動手段として活用され、利用者数は令和3年度372人、令和4年度697人、R5年度878人と推移しているものの、予約方法の不便さ（電話のみ前日予約）や便数・乗降場所に限りがあることから、高齢者の外出需要に十分対応できていない。
- しかし、運行事業者については従業員不足で、現状の仕組みではこれ以上サービス拡充が難しい現状にある。
- 八代市地域公共交通計画では、市民（利用者）からの意見を収集し、利便性向上に向け運行サービスを見直すこととしている。

地域公共交通計画への位置づけ  
（位置づけ予定を含む）

有（予定）  
※R6.8に計画変更予定

運輸局・運輸支局への事前相談

九州運輸局熊本運輸支局

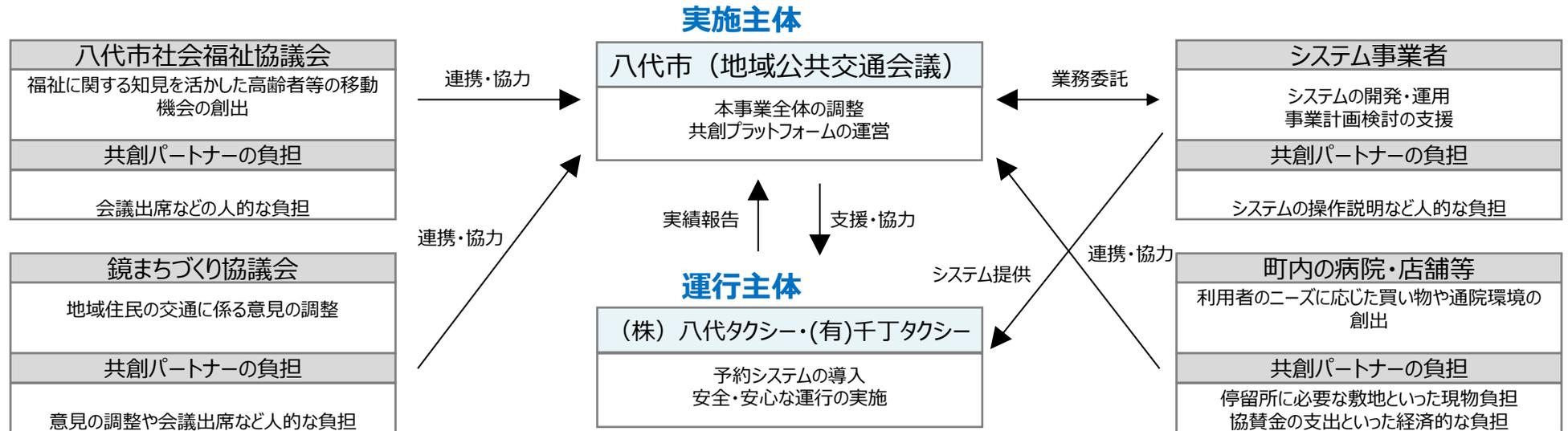
令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

無

# まちづくりと連携した持続可能な交通サービスについての実証実験

八代市地域公共交通会議

## 事業の全体像・共創の仕組み



## 取組の概要

### (事業の概要)

○現在、運行しているデマンド型乗合タクシーを地域内の病院や店舗など生活に必要な地域資源と連携させることで、乗降場所の追加など高齢者の外出需要への対応が可能となるとともに、高齢者のニーズに対応した外出機会の創出や地域経済の活性化を図る。また、運行事業者の従業員不足といった課題解決に向け、AI技術を導入したデマンドシステムを導入することで、予約や配車など業務の効率化を図り、持続可能な移動手段の構築を目指すもの。

### (地域の関係者との連携・協働)

○地域の市民団体をはじめ関係者が参画することで、高齢者の外出機会の創出を地域全体の課題として捉え、解決に向けた自主的かつ継続的な取組につながることを期待される。また、「地域で創る交通」との意識が醸成されることで、住民の声を踏まえた誰もが利用しやすい持続可能な交通サービスにつながる。

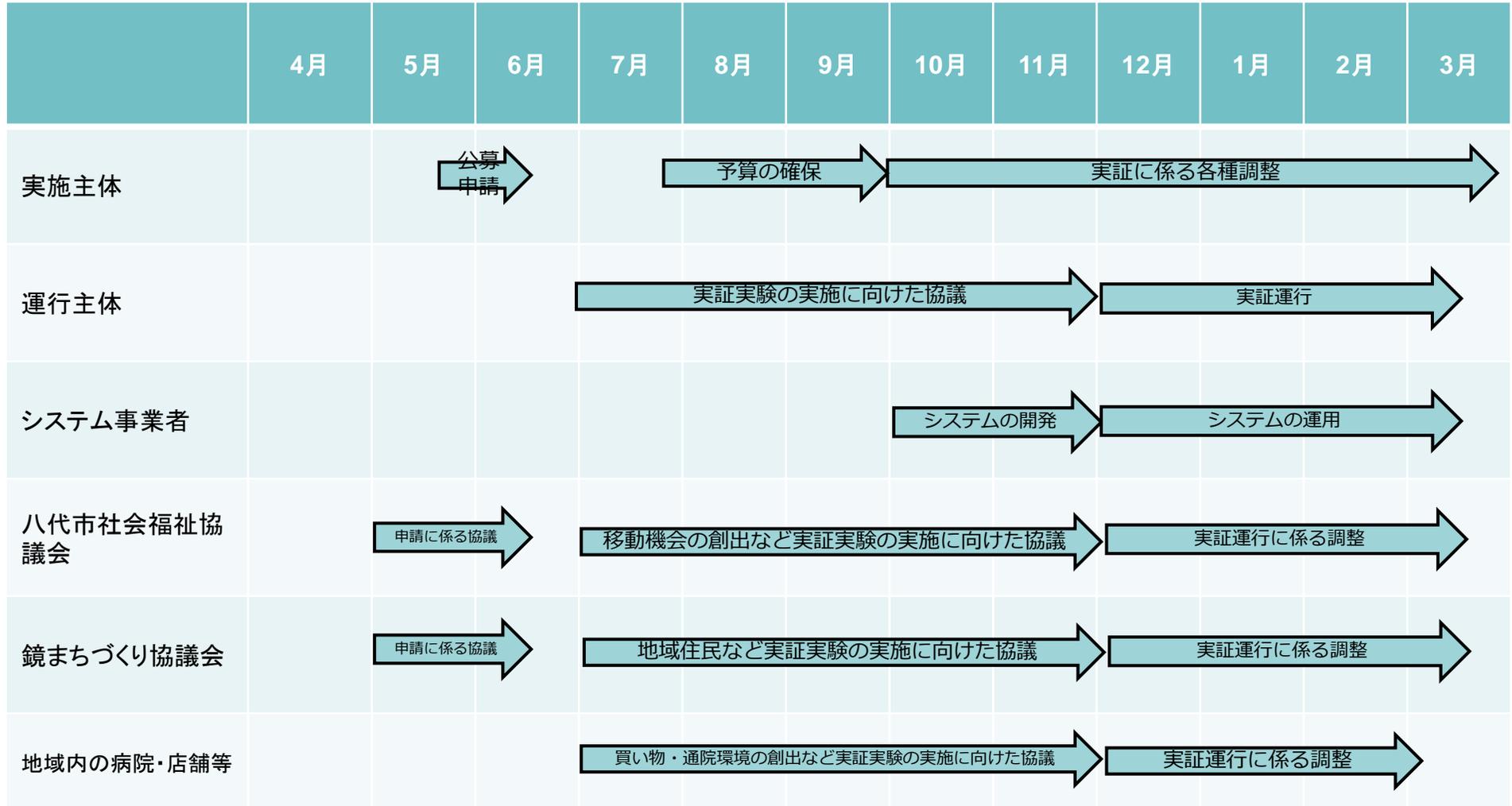
### (地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性)

○現行のフィーダー系統である乗合タクシーをベースとしており、地域内の交通ネットワークの強化に資するものである。

# まちづくりと連携した持続可能な交通サービスについての実証実験

八代市地域公共交通会議

## 事業実施手順・スケジュール



# まちづくりと連携した持続可能な交通サービスについての実証実験

## 取組の詳細

### (地域交通にもたらされると想定される効果)

- AIを導入することで最適なルートによる運行が可能となり、利便性が向上することで、利用者の増加が期待される。  
利便性向上による利用者の増加：878人 ⇒ 1,756人（年間ベース） 新規利用者 30人
- 自家用車での送迎からの乗合タクシーへの転換の促進

### (地域全体に及ぶと想定される効果)

- 社会福祉協議会や地域の市民団体、商店等が一体となって取り組むことで、高齢者のニーズに応じた外出機会が創出され、地域の活性化につながる。  
高齢者の外出支援促進：いきいきサロン新規参加者 30人
- 乗降場所の増加による利便性の向上 新規乗降場所 病院 3か所、店舗5か所（利用状況の分析も可能となる）

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ（複数選択可）、当該内容について上記に具体的に記載してください。

<input type="checkbox"/>	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上	<input type="checkbox"/>	貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
<input type="checkbox"/>	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備	<input type="checkbox"/>	通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

### (補助事業実施後の予定)

○乗客数や乗降場所、配車や走行ルートの効率性など実証実験の結果を踏まえ、AIオンデマンドタクシーの本格運行に向けて、運行事業者と協議を行いながら検討を進めるとともに、将来的には買い物や通院だけでなく、子供の習い事など様々な移動需要も視野に入れて、他地域も含めた、事業展開を図っていききたい。また、今回の実証実験に参画いただいた関係団体との連携を継続していくことで、さらなる協力団体の拡大につなげ、持続可能な制度として運用できる体制を構築していきたい。

資金面	八代市から運行経費の支援、地域内の病院・店舗等からの協賛金
人材面（運転手の確保）	交通事業者の従業員確保に向けた、八代市における雇用促進対策事業との連携